

MB&F M.A.D.Gallery がイタリア人建築家 Bruno Gritti のヴィンテージ測量器具 25 点のコレクションを披露

イタリア人鑑定家兼収集家の **Bruno Gritti** の協力により **MB&F M.A.D.Gallery** が、19 世紀の希少で美しい 25 点の測量器具を展示。

18・19 世紀において測量士は非常に重要な人物でした。加速的に工業化が進む中、都市地区の作成、運河工事、道路工事、鉄道の設置に必要な「線」を引く責任を担っていたのです。

そんな彼らの最も貴重な所持品が経緯儀、トータルステーション、水準儀などといった測量器具でした。これらの器具はただ単に極めて精密な測定器に留まらず、精巧な作品でもありました。きらめく真鍮、青銅、鋼鉄。そして時には木製の三脚やキャリングケースの豊かな褐色の濃淡が、更に色を添えます。

Gritti 氏は人生の過去 50 年を、大航海時代と帝国建設時代を代表する、歴史的財宝の入念な探索と収集に捧げました。我々にとって幸運にも氏は、歴史愛好家と繊細な職人技が光る機器を愛でる同類にバトンを渡す上で **M.A.D.Gallery** を選びました。

Gritti 氏は細心の注意を払って管理している自身のコレクションについて語ります。「私にとって、このコレクションの器具は精密機器と応用光学の体現だけでなく、歴史において特定の時期を象徴する芸術作品なのです」。

世界を形成した機器

世界最高峰の山、エベレストの名前の由来をご存知でしょうか？実は有名な冒険家ではなく、1830 年代に行われたインド亜大陸の初の地積測量図作成の準備の際に重要な役割を果たした、イギリス人測量士の **George Everest** から来ているのです。

実際、18 世紀と 19 世紀は測量学の黄金期でした。アメリカや遠く離れたヨーロッパ諸国の植民地などを含む、それまで地図上に存在しなかった世界の各部が貿易、通商、入植の新天地となった時代です。

これらの地域の資源を利用するには、その土地の地形を知ることが必要不可欠であり、測地線測量と地形地図製作が極めて重要となりました。各国の政府は早い段階で、測量士が領土及び資源の統制において決定的な役割を持っていると理解しました。

広大な土地の図表作成の作業は素晴らしいものでした。土地測量士は多くの場合、困難な土地を任せられ、数ヶ月かけて現地で山岳、河川、沿岸などの地形特徴を正確な測量器具で計測しました。

19 世紀後半の産業革命の到来まで、測量器具は大抵の場合、独学の発明家でもあった職人たちが作っていました。それぞれの作品は、依頼者によって、異なる精緻な彫刻やディテールで仕上げられていました。10 点から 20 点までの限定品であっても、個々の機器は仕上げ作業の際に施された異なるディテールにより、一点ものとして認識されることもありました。

最高の測量器具は、当時の科学装置の中では最も先進している機器の一部であり、非常に珍重され、比類ない精度のためだけでなく、職人技と見事な外観も相俟って極めて高価なものでした。

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: jd@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 36

Bruno Gritti コレクション

建築家である **Bruno Gritti** は年代物の測量器具に完全に魅了され、1960年代から現在に至るまで収集を続けてきました。コレクションはパルマのメルカンティンフィエラなどの骨董市の訪問を重ねて、徐々に拡大していきました。

「新しい器具を発見した瞬間は言葉で言い表せません」とイタリア人の建築家は語ります。「収集家でなければ、この初期段階で感じる心の充足は理解できません。単に現物を所有するという次元を遥かに超えています」。

Gritti 氏の機器選定基準は希少性と外観の2つでした。過去 50年間で、彼のコレクションは品質を上げ、品数を増やすだけでなく、測定器が収集品として高い人気を集め始めたことから、価値も向上しました。

トータルステーションと経緯儀と水準儀

Gritti コレクションは当時最も一般的に使用されていた器具を揃えています。それが水準儀、経緯儀とトータルステーションです。

Y形水準儀は標高の測定に利用され、Y字型の支柱にアルコール水準器が取り外し可能な望遠鏡に対して平行に設置した構造となっていました。経緯儀は水平・垂直角度の双方の高精度な計測に使用され、目盛りのついた垂直の円、水平な円形板2枚、アルコール水準器2つに取り付けられた望遠鏡からできていました。そしてトータルステーションは経緯儀の一種であり、距離の計測にも役立ちました。

これらの測定器は今日でも、レーザーセンサーや電子装置などを備えた近代的な装いで利用されています。

すぐれた名前の方々

Gritti コレクションには、グリニッジ天文台やメルボルン天文台のために機器を製作した、19世紀の著名なロンドンの **Troughton & Simms** などが作った器具が存在します。他にもイギリスの高名な器具メーカー、**Thomas Jones** がおり、彼は 1835年にロンドン王立協会のフェローとして選ばれるほどの重要人物でした。

ヨーロッパのメーカーに加えて、コレクションはフィラデルフィアの **Young & Sons** や、ニューヨークの **Keuffel & Esser** などのアメリカ企業の器具も誇っています。機器が紹介されているヨーロッパ企業とアメリカ企業は全て、アメリカ合衆国の海岸線を測量するため 1807年に設置された、米国沿岸測量所に器具を支給しています。

Bruno Gritti について

Bruno Gritti はイタリアのベルガモで生まれ、今でもそこで暮らしています。現在 75歳である **Bruno** は建築家として活躍し、昨今は保健・社会サービス施設の設計・建設を専門としています。測量器具に対する情熱とは別に、**Gritti** 氏は時計収集のベテランでもあります。

詳細お問い合わせ:

Juliette Duru, MB&F SA, Rue Verdaine 11, CH-1204 Genève, Switzerland

メール: jd@mbandf.com 電話: +41 22 508 10 36